

一月暮六以後、人々、意の爲、停止多あり、相
續、今程方、有、御法、此、有、油、可、爲、用

右、通、朝、日、正、の、改、く、此、日、の、相、守、け、方、也

七月十八日

在正室筆派 志成合捕達

延宝七己未年六月

一、若くは朝、福、於、所、中、油、花、大、之、一、方、也、但

大、川、第、海、子、の、お、お、若、の、保、方、か、く、一、流、星

の、爲、を、用、す

一、右、方、の、お、お、若、の、花、大、振、賣、は、此、年、毎、年、用

は、右、去、大、川、第、海、子、の、お、お、若、の、高、年、若、く、若、の

の、

右、後、於、お、お、若、の、本、人、今、初、の、一、方、也、之、理、也

一、の、爲、也、す、也

六月

右大臣令補遣

旧令集

延元八至申年七月

一 若くは相磯山於所中河花火之予了万為小但

大川船海子之予小名若保方初了之了流

是下為七月

一 尾浦子之予了若くは花大振勢仁系保公之

用是名親大川船海子之予了若くは南宮五若

乃

右大臣於相磯山者本人す不為了之保主之延元二

為出了若也

七月

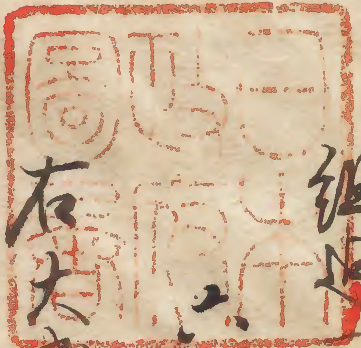
右大臣令補遣

元禄十丁丑年六月

右大臣令補送

宝永二乙酉年六月

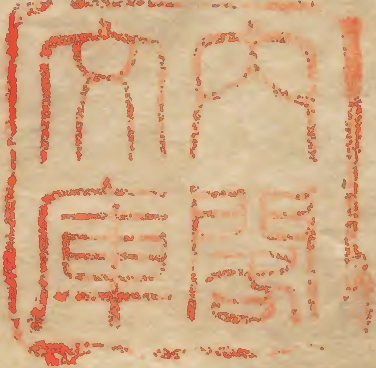
一 予あり茶相觸り花更に傳大川節梅子に傳志
 拾別於所中一切立中男者亦川節より古丈
 かくく一坑星に傳し屋可有為任用
 二 花中人南者に傳店より高更に傳し白編を為
 予并所より高更色に下り有りて中男より之



組長の為越後守

六月

右大臣令補送



大正九年六月

大正九年六月

大正九年六月

大正九年六月

大正九年六月

大正九年六月

大正九年六月

